

【ご案内】

令和6年度(2024年度)情報検定(J検)

情報システム試験プログラミングスキルの出題範囲について

情報検定(J検)では、令和6年度(2024年度)から、情報システム試験プログラミングスキルの出題範囲を一部改訂いたします。このことについて、令和5年4月に発表しておりますが、令和6年9月開始として以下のとおり改定内容を追加いたします。

なお、この改訂による試験時間、受験料、合格基準・認定および技術認定の変更はありません。

【改訂内容・開始時期】

プログラミングスキル問題5：選択問題について

(現行：令和6(2024)年3月31日試験まで) C言語、アセンブラ、表計算(マクロ含む)

(改定後：令和6(2024)年4月1日試験から8月31日試験まで) C言語、表計算(マクロを含みません)

(改定後：令和6(2024)年9月1日試験以降) 選択問題廃止、必須の擬似言語問題とする

※擬似言語の仕様は基本情報技術者試験(FE)に沿う

※令和6年9月改訂に合わせた擬似言語のサンプル問題をJ検Webサイトに掲載予定(令和6年4月)

	現行	令和6(2024)年4月改訂	令和6(2024)年9月改訂
選択問題内容	C言語、アセンブラ、表計算(マクロ含む)から選択	C言語、表計算から選択	<u>選択問題廃止</u> <u>必須の擬似言語問題</u>
PBT(ペーパー方式)	令和5年度後期試験まで	—	令和6年前期試験以降
CBT方式	令和6年3月31日試験まで	令和6年4月1日試験～ 令和6年8月31日試験	令和6年9月1日以降

【配点】

現行 令和6(2024)年3月31日まで

問題	出題範囲大項目		配点
1～3	データ構造とアルゴリズム		60
4	擬似言語		15
5	プログラミング技術 または表計算ソフト を利用した問題解決	選択問題	25
		C言語	
		表計算	
合計			100

令和6(2024)年4月1日～2024年8月31日

問題	出題範囲大項目		配点
1～3	データ構造とアルゴリズム		60
4	擬似言語		15
5	プログラミング技術 または表計算ソフト を利用した問題解決	選択問題	25
		C言語	
		表計算	
合計			100

令和6(2024)年9月1日以降

問題	出題範囲大項目	配点
1～3	データ構造とアルゴリズム	60
4	擬似言語	20
5	擬似言語	20
合計		100

【出題範囲】

	現行 2024年3月31日試験まで	2024年4月1日試験から 2024年8月31日試験まで	2024年9月1日試験以降
データ構造とアルゴリズム	<p>●問題を解決するために適したデータ構造と、問題を解決するために効率の良いアルゴリズムが想定できるかを問う。</p> <p>①データ構造 配列、リスト、スタック、キュー、2分木など</p> <p>②アルゴリズム 探索、整列、再帰、文字列操作、数値演算</p> <p>③ファイル処理 コントロールブレイク、マッチング</p> <p>④アルゴリズムの評価 状態遷移、計算量</p> <p>⑤デシジョンテーブル（決定表）を利用した問題解決</p>	変更なし	変更なし
擬似言語	<p>●擬似言語を用いてアルゴリズムを適切に処理できるかを問う。</p> <p>①アルゴリズム 探索、整列、再帰、文字列操作、数値演算</p> <p>②ファイル処理 コントロールブレイク、マッチング</p>	変更なし	<p>擬似言語 を利用したアルゴリズムの実装</p> <p>●擬似言語を用いてアルゴリズムを適切に処理できるかを問う。</p> <p>①アルゴリズム 探索、整列、再帰、文字列操作、数値演算など</p> <p>②ファイル処理 コントロールブレイク、マッチング</p>
プログラミング技術または表計算ソフトを利用した問題解決	<p>●プログラムについて適切なテストケースを設定できるとともに、テスト結果が正当であるか判断できるかを問う。</p> <p>●プログラムまたは表計算ソフトを活用した問題解決</p> <p>①想定した処理を適切にプログラムとして表現できるかを問う。プログラム言語はC、アセンブラとする。各プログラム言語の仕様は次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・C：JISx3010</li> <li>・アセンブラ：システム仕様はCOMET IIに準拠 言語仕様はCASL IIに準拠</li> </ul> <p>②表計算ソフトを活用した問題解決（マクロ含む）</p>	<p>●プログラムについて適切なテストケースを設定できるとともに、テスト結果が正当であるか判断できるかを問う。</p> <p>●プログラムまたは表計算ソフトを活用した問題解決</p> <p>①想定した処理を適切にプログラムとして表現できるかを問う。プログラム言語はC、<del>アセンブラ</del>とする。各プログラム言語の仕様は次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・C：JISx3010</li> <li>→アセンブラ：システム仕様はCOMET IIに準拠 言語仕様はCASL IIに準拠</li> </ul> <p>②表計算ソフトを活用した問題解決 <del>（マクロ含む）</del></p>	